

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ムーンショットステーション		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和8年3月2日		令和8年3月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達の声で実現していく学びの活動プログラムの実施。	職員主導ではなく、子ども達の興味関心に耳を傾けながら子どもたちの思いややってみたいことを実現できるような活動を実施している。	子ども達の思いを大切にすために対話を大事にしたプログラムを考えていく。子ども達が達成感や充実感を味わうことのできる活動計画を立てていく。
2	十分な学習機会の提供と学習支援や進路支援等支援プログラムの充実。	高学年・中学生・高校生の子どもの発達段階、特性に合わせた学習支援や活動プログラムの構築を実施している。受験を控えた子どもたちへは、様々な情報提供や面接練習なども実施している。	一人ひとりのニーズに合わせた支援プログラムの構築と教材開発を行っていく。
3	子どもの成長を長期的、短期的に捉えた支援体制。	発達段階に応じた事業所の運営。 異学年の交流が盛んとなる活動の実施。 幼少期から青年期までを線で支援できる体制づくり。	事業所間の交流の充実を今後も継続。共に育ちあうことのできる活動を多く実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同世代の他団体との交流の機会の充実やイベントへの積極的参加。	地域のお祭りや行事に参加するなど社会とつながることに重きを置いている。また、そのような交流のできる団体を見つけていくのが困難ではある。	同世代の子ども達との交流は大切であると感じている。事業所内だけではなく、外部との交流の機会がもてるようなイベントへの参加を検討していきたい。
2	子ども達が安心して活動できる場所の確保や拡充。	現在利用している事業所が成長期の子どもの活動スペースとして十分な広さを確保できないこともある。広いスペースの確保や活動場所を工夫している。	3月より活動スペースの拡充を行った。また、法人全体の事業所を活用するなどの工夫も行っていく。
3	保護者同士の関係づくり、交流の機会の提供	保護者会の開催や交流企画を実施するための場所、日程の調整が難しい。また、どのようなニーズがあるのかを十分に把握しきれていない。	休日活動に子どもと一緒に参加できるような企画を増やしていく。保護者会の定期的な開催を行っていく。

令和7年度 放課後等デイサービス ムーンショットステーション
保護者向け評価の結果

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	4	0	2
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	4	0	2
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	4	0	2
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1	0	1
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	28	3	0	1
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2） は、事業所の提供する支援内容と合っていると思 いますか。	32	0	0	0
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後 等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が 作成されていると思いますか。	30	1	0	1

適切な支援の提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	0	1
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	1
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1	0	1
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19	3	2	7
保護者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	0	0	0
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	1
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	2	1	5
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	31	1	0	0
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1	0	1
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	2	0	0

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	7	3	1
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2	0	1
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1	0	0
	21	定期的に通信やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	1	0	2
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	0
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	0	0	3
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	3
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	0	1
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1	0	1

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	0	0	0
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	4	0	0
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	0	0	0